

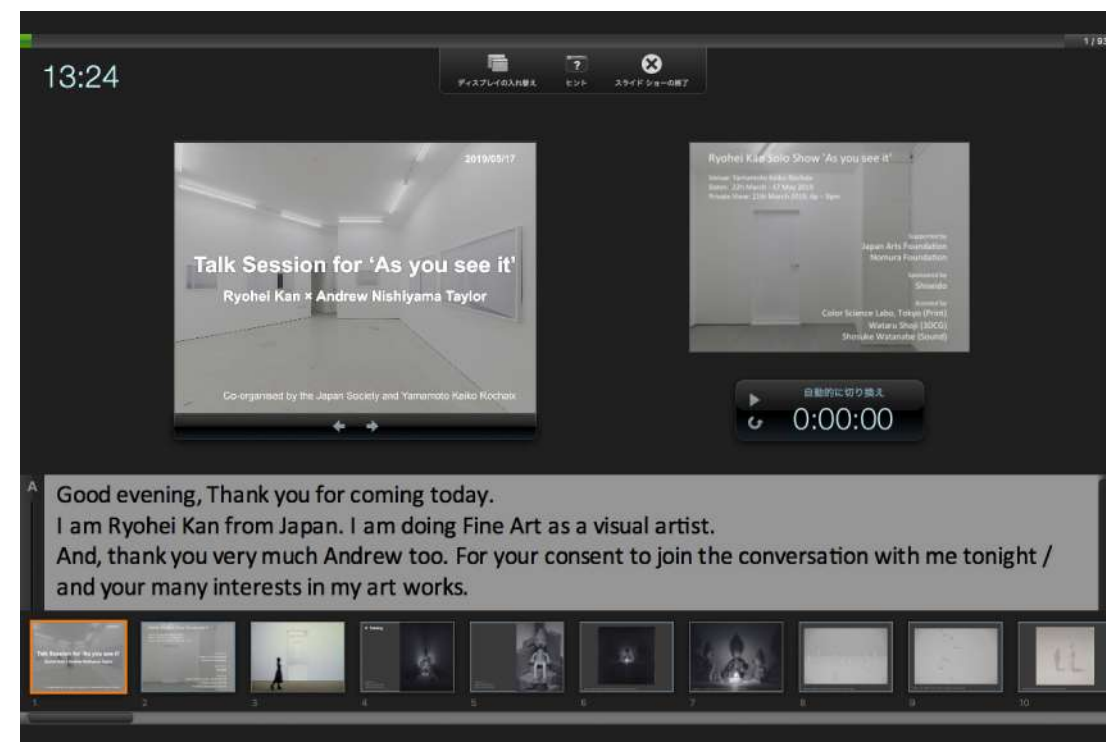
2019年度 菅亮平 通年ゼミ  
Presentation Study  
— プレゼンテーション・スタディ —

8

## 【第8回 トーク】

日時：2019年12月18日（水）17:00~19:00

場所：東京藝術大学上野校舎 中央棟 1F 第2講義室



個展「As you see it」トークイベントのためのパワーポイント / 菅亮平 / 2019

プレゼンテーション・スタディ 第7回「ステートメント」に引き続いて、本講座でも美術と言葉の問題について考えます。美術作品とは数多くの要素と文脈が絡み合った複雑な構造体であり、多岐にわたる論点が含まれています。そして制作者本人が自作を説明する観点や状況もまた様々であり、それぞれの TPO に応じて話をすべき優先順位を変えなければならないことさえあるでしょう。大学の講評で、展覧会の会場で、トークイベントで、食事会で、はたまた道端で、自身に与えられた限られた時間の中で作品を端的に説明することは、各自の作品の構造を見直すことにも繋がっていきます。作品について何を語りあるいは何を語らないのか、それがアーティストとしてのそれぞれのアイデンティティを構成するものである以上、アーティストの数だけそのあり方はあって良いはずですが。そして作品の様態には無数のバリエーションがあるため、その判断が一様であるはずもありません。ここでは、美術における言葉を介した他者とのコミュニケーションのあり方とその可能性を多角的に考察することを目指します。また、トークイベントでの発表を効果的かつ効率的に行うためのスライド作りの基本とその構成方法を紹介します。

(※ 本講座の後半パートでは、2015年に本学油画科を修了した美術作家の吉野ももさんをゲストに迎えてトークイベントを開催します。)